



にこにこ



ぱんだ組での生活も早1カ月♪泣いたり笑ったりしながら、少しずつぱんだ組での生活にも慣れてきました。棚にある玩具に興味を持ち、思い思いに手に取り遊んだり、その後のお片付けも出来る子も増えてきました。お友だちに、遊んでいた玩具を「はい、どうぞ!」と貸してあげたりするなどの微笑ましい場面も見られて成長を感じます♪

天気の良い日には隣の長久保公園に遊びに行き、砂遊びや、鉄棒、かけっこで全身運動を楽しんでいます。屋上園庭では、滑り台や三輪車、フラフープなどで異年齢児のお友達と一緒に遊んでいます。

今後も天気の良い日は戸外で、雨の日は室内の巧技台やホールでたくさん体を動かし、毎日楽しく元気に過ごしていきたいと思っております♪

♪ぱんだ組の子どもたちが楽しく遊んでいるおもちゃ♪

ぱんだ組には、楽しい玩具がたくさんありますが、今回ご紹介するのは、「ポトリンコ」という穴を開けてある容器にチェーンやチューブなどを入れて遊ぶ玩具です。



狙いを定めて、慎重に穴に通しています。何度も繰り返し、集中して遊んでいます♪

ポトリンコって??

ボールや積み木などが掴めるようになると手から離せるようになり、穴に入れられるようになるとできる遊びです。手先の器用さ、集中力、好奇心を養い、褒められた時の嬉しい気持ちから、自己肯定感が高まります。そして、もっと難しいものに自ら挑戦していく気持ちが芽生えてきます。また、物によって持ち方、入れ方、押し込む力加減、逆の手で容器をおさえて入れる・・・等色んなことを考える必要があります。大人は見本を見せながら一緒に遊んでいます。子どもたちは何度も挑戦し、成功した時は、拍手をしながら大人の目を見て、嬉しそうに知らせてくれます。

おもちゃは、洞察力、想像力、集中力など様々な力を養うことができ、子どもの可能性を広げる重要な存在の一つです。乳幼児期に指先や手を使って遊ぶことは脳を刺激し、その後の発達にも良い影響を与えます。これからも一人ひとりの発達に合った遊びを提供することで、子どもたちが「できた!」「楽しい!」と感じられる機会を増やして行きたいと思っております♪